

「ぼくら元気な

カミカミ隊」

小学生への取り組み

ヘルスボランティア委員会

ヘルスボランティア委員会では、食生活や生活習慣についての取り組みを話し合う中で、「小学生を対象」に出来ることを検討しました。まず小学校の栄養士を交え学校での子供たちの様子などを聞き、課題を見つけていきました。「給食などもよく食べてはくれるんですが、魚や野菜の苦手な子供が多く、よく噛んで食べることが出来ず、汁や牛乳で流し込んで食べる人が多いですね」といった話が出ました。

合い言葉は、
「ひみこの歯がい〜ぜ」



そこで、昔の食べ物（おやつ）を知らせ、よく噛むことに意味があることや、食に対する想いなどを伝えるようにということになり

「ぼくら元気なカミカミ隊」という台本を委員会で作りました。

「子供たちがおやつを持ち寄り集まって食べようするが、一人だけ干し芋を持ってきたことから、昔のおやつや生活の様子、歯の表彰や、噛む事の効果へと展開し、よく噛んで食べるとたくさんのおいしいことがあることに気づく」といった内容で寸劇を行いました。こうら焼き・吊し柿・干し芋・かち栗・焼き餅・煎り大豆等を作り、持って行き試食をしながら楽しいふれあいを持ちました。

この歯ごたえが
たまんな〜い



- ・「ぼく四〇回も噛んだよ」
- ・「よく噛むと良いことがたくさんあるのがわかったよ」
- ・「こうら焼きがとってもおいしいよ」

*「今度はどちらへ公演に行かれま

すか」と先生に問われながら小学校を後にしました。

岡山県農林漁業担い手 育成財団就業奨励金の 交付について

岡山県農林漁業担い手育成財団が行う就業奨励金支給事業により、本村の木村良一さんが奨励金の交付を受けられることになり、この度伝達式が行われました。

この交付金は40才までの新規就農者で、将来にわたって専業農家としての経営、地域農業発展に貢献していただくことを期待し、岡山県農林漁業担い手育成財団と西栗倉村が交付するものです。



▲伝達式の様子

◎木村良一さんのご紹介

平成17年から就農した木村良一さんは、本村塩谷で約500本のブルーベリー栽培を行われており、将来的には800本を予定されています。

ブルーベリーは、植付から数年で本格的な収穫が出来るようになりますが、将来的には、つみ取りの観光農園を計画されています。

また、あわくらんど等、青空市への野菜出荷も積極的に行われています。現在は、奥さんの由子さんと2人で頑張っておられますが、この春には、お子さんも誕生する予定です。今後のご活躍を期待します。

▼ブルーベリー園



(由子さん)

(良一さん)

(木村さんの言葉)

この度は、就業奨励金をいただきありがとございました。この村に来てもうすぐ2年になるうとしていきます。その間、お世話になった皆様にも改めてお礼を申し上げます。

人が口にする物を作る農業という仕事にすぐ魅力を感じて今でも続けています。頭に描いているものには、まだほど遠いですが、これから私と同じような考えの人が来てもらえるようになるためにも、頑張っていきたいと思っています。まだまだ先は長く、これからもお世話になると思います。ありがとうございます。みなさんのご支援をお願いします。

西栗倉村 立志式

〜大人への決意を新たに〜

2月20日（火）、あわくら会館大ホールで立志式が行われました。

式典では、青木議長をはじめとする来賓の方々から激励のことばをいただき、村からの記念品を受け取りました。

その後、立志を迎えた十七名の生徒を代表して、神原辰朗君が、



- 一 自分の夢に向かって努力することを誓います。
- 一 思いやりの気持ちを大切に、助け合うことを誓います。
- 一 私たちは自分の役割に責任を持ち、決まりを守り、けじめをつけることを誓います。
- 一 私たちはこの西栗倉村に生まれたことに誇りを持ち、どんなことにも自信を持って頑張っていくことを誓います。

と、誓いのことばを述べて、出席した生徒全員が決意を新たにしました。

なお、立志式に向けて2年生全員の文集を作りましたので、代表して2人の生徒の作文を紹介します。

『将来の夢』

江見 彩樹

私は、将来服飾関係の仕事につきたいと思って

います。一年くらい前まで自分がやりたいことも、好きな事も目標もないまま、だらだらしていました。だけど自分で動ける範囲が広がり、見たり聞いたりすることも増えてくると、こういう仕事もしたい、ああいう仕事もしてみたいと、将来つきたい仕事について考えるようになりました。

私は、ファッション雑誌を見るのが好きで、同じ本を何回も繰り返し読んでいます。雑誌にのっている服や小物には一つ一つ違いがあります。そして、その一つ一つには形や素材に名前があります。そして、お姉ちゃんに教えてあげると、お姉ちゃん「あんだは、服の名前とか覚えるのが好きなんじゃない、ファッション関係の仕事したいじゃないか」と言ってきました。今までそんなことは一度も考えたことはなかったけど、考えてみるとすごーくやりたいなあと思っていました。最近では、雑誌だけじゃなくてテレビなどを見ても学びます。いつか変わってしまうかもしれないけど、今はこの夢に向かってガンバろうと思っています。

『将来の夢』

神原 辰朗

僕の夢は、自動車会社の開発研究部に所属する技術者になることです。なぜなら、機械や自動車が大好きで、そんな最先端の技術で機械を造ってみたいからです。でも、車の整備士でもいいです。だからにより、日々機械と接し自分の趣味のように仕事したいです。このように思っているからロボットの大会をテレビで見たら「ああ、こんな

ん作りてえな。」と思わず口にしてしまうほど好きなので技術者になりたいと思います。もう一つの整備士もいいなと思うようになったのは、F1がきっかけでした。F1は速くてカッコイイから、そのチームの一員となつてピットに立ちたいです。でもそれはすごく難しい事なので関連性のあるHONDAや、TOYOTAといった企業のエンジニアになりたいです。僕はなにより機械が大好きです。いろいろな機械が好きなのですが一番は入りたいのはHONDAです。なぜかというとアシモがあるからです。僕は夢に向かって突き進んでいます。



ほほえみ会による

「あわくら ふれあいひな祭り」

開催



ほほえみ会は、西栗倉の人が「住んでいてよかった、幸せだな」と感じることができる村になるには、どうしたらよいかを住民と行政で一緒に考えながら、自分たちにできることから、取り組んでいる会です。

今回「子どもの健やかな成長を祝おう」「昔から伝わる伝統や文化を子どもたちに伝えていこう」と考え、現在閉館中の民芸館を使つてのひな祭りを計画しました。

民芸館所蔵のおひなさまや天神さまの展示、昔懐かしいおいりなど手作りのおやつで、子どもからお年寄りまでみなさんでふれあい、楽しんでいただけたらと思っています。ご家族、ご近所のみなさんで、ぜひお越しください。

日時：平成19年4月15日（日）

午前10時～午後3時

場所：西栗倉村 天岡公園 民芸館

内容：ひな祭りを楽しもう

折り紙で遊ぼう

ひな祭りのおやつを食べよう



* 折り込みチラシもご覧ください *

ひな祭り Q & A

Q. ひな祭りには、なぜひな人形を飾るの？

- A. 平安時代のお人形（ひいな）遊びと、人形に自分の厄や災いを移して、海や川に流した流し雛の行事が結びついたものが、現在のひな祭りと言われています。
人形が身代わりとなり、子どもに災いが降りかからないようにという願いや、人生の幸福が得られるようにというあたたかい気持ちなどを込めて、ひな人形を飾るようになったのです。

Q. ひな人形はいつから、いつまで飾るの？

- A. 立春（2月4日）頃から2月中旬、遅くとも節句の一週間から10日前までには、飾るものとされています。しかし、西栗倉村のように、旧暦や月遅れでお祝いをしている地方も多いようですが、前記の日にちを基準に考えればよいでしょう。
また片づけが遅れると、お嫁に行くのが遅くなるなどという地方もあるようですが、ルーズな行為をいましめたものです。
しかし、ひな祭りがすんだら、なるべく早めに、晴れた湿度の低い日にしまいたいものです。